

専門考査の問題

問1 次の記述は、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）の一部を抜粋したものであるが、①～⑤にあてはまる語句を下記の語群ア～セの中から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

第2条第2項 この法律で「(①)」とは、次に掲げる物であつて人体に対する作用が(②)なものをいう。

1 次のイからハまでに掲げる目的のために使用される物(これらの使用目的のほかに、併せて前項第2号又は第3号に規定する目的のために使用される物を除く。)であつて機械器具等でないもの

イ 吐きけその他の不快感又は口臭若しくは体臭の(③)

ロ あせも、ただれ等の(③)

ハ 脱毛の(③)、育毛又は除毛

2 人又は動物の保健のためにする(④)、はえ、蚊、のみその他これらに類する生物の防除の目的のために使用される物(この使用目的のほかに、併せて前項第2号又は第3号に規定する目的のために使用される物を除く。)であつて機械器具等でないもの

第2条第3項 この法律で「(⑤)」とは、人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌^{ぼう}を変え、又は皮膚若しくは毛髪を健やかに保つために、身体に塗擦、散布その他これらに類似する方法で使用されることが目的とされている物で、人体に対する作用が(②)なものをいう。ただし、これらの使用目的のほかに、第1項第2号又は第3号に規定する用途に使用されることも併せて目的とされている物及び(①)を除く。

【語群】

ア. 改善 イ. クモ ウ. 医薬部外品 エ. 治療 オ. 緩和 カ. 防止
キ. ねずみ ク. 薬用化粧品 ケ. 緩慢 コ. ムカデ サ. 化粧品 シ. 穏やか
ス. 新指定医薬部外品 セ. 医薬品

問2 次の「第17改正日本薬局方」(平成28年厚生労働省告示第64号)通則及び生薬総則の抜粋に関する(1)～(4)の記述について、①～⑤にあてはまる語句を下記の語群ア～セの中から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 定量に供する試料の採取量に「約」を付けたものは、記載された量の±(①)%の範囲をいう。また、試料について単に「乾燥し」とあるのは、その医薬品各条の乾燥減量の項と同じ条件で乾燥することを示す。
- (2) 医薬品各条の定量法で得られる成分含量の値について、単にある%以上を示し、その上限を示さない場合は(②)%を上限とする。
- (3) 生薬の性状の項は、その生薬の代表的な原植物又は原動物に基づく生薬について、鏡検時の数値を含め、その判断基準となる特徴的な要素を記載したものである。そのうち、色、(③)及び溶解性については、(③)を適否の判定基準とすることを除き、通則の規定を準用する。また、(④)は適否の判定基準とする。
- (4) 粉末生薬のうち、別に規定するものについては(⑤)を加え、含量又は力価を調節することができる。

【語群】

ア. 1 イ. 基原 ウ. 賦形剤 エ. 5 オ. におい カ. 味
キ. 101.0 ク. 形状 ケ. 110.0 コ. 基剤 サ. 部位 シ. 10
ス. 調整剤 セ. 100.0

問3 次の(1)～(4)の記述について、「薬剤師法」(昭和35年法律第146号)及び関係法令の規定に照らし、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 薬剤師の任務は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保することである。
- (2) 厚生労働大臣は、罰金刑に処せられた者に免許を与えないことがある。
- (3) 都道府県知事は、薬剤師名簿を備え、登録年月日、処分に関する事項その他免許に関する事項を登録する。
- (4) 薬剤師免許証を紛失し、その再交付を受けた後、失った薬剤師免許証を発見したときは、30日以内に返納しなければならない。

問4 次の(1)～(5)の記述について、「毒物及び劇物取締法」(昭和25年法律第303号)及び関係法令の規定に照らし、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 毒物又は劇物の製造業の登録を受けた者は、販売の目的で毒物又は劇物を製造することができる。
- (2) 毒物又は劇物の販売業者は、毒物又は劇物を直接に取り扱う店舗において、自ら毒物劇物取扱責任者として、毒物又は劇物による保健衛生上の危害の防止に当たらなければならない。
- (3) 厚生労働省令で定める学校で、応用化学に関する学課を修了した者は、都道府県知事が行う毒物劇物取扱者試験を受けることなく、毒物劇物取扱責任者になることができる。
- (4) 毒物又は劇物の製造業者は、登録されている毒物又は劇物の製造を廃止しようとするとき、あらかじめその旨を都道府県知事に届け出なければならない。
- (5) 厚生労働大臣は、犯罪捜査のために必要があると認めるとき、毒物劇物監視員に毒物の製造業者の製造所から、毒物を収去させることができる。

問5 次の(1)～(5)の記述について、「麻薬及び向精神薬取締法」(昭和28年法律第14号)の規定に照らし、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 麻薬研究者は、研究の目的であれば、麻薬を施用できる。
- (2) 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(昭和35年法律第145号)の規定により薬局開設の許可を受けている者でなければ、麻薬小売業者の免許を受けることができない。
- (3) 麻薬原料植物は、麻薬研究者が研究のために栽培する場合を除いて、何人も栽培してはならない。
- (4) 麻薬製造業者は、自ら製造した麻薬を販売の目的で輸出することができる。
- (5) 家庭麻薬製造業者は、コデインを所持することができる。

問6 次の(1)～(4)の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を
解答欄に記入しなさい。

- (1) アルドステロンは、遠位尿細管及び集合管における Na^+ の再吸収及び K^+ の排泄を促進する。
- (2) フロセミドは、ヘンレ係蹄上行脚に作用して利尿作用を示す。
- (3) スピロノラクトンは、ループ利尿薬であり、低カリウム血症を起こすことがある。
- (4) イソソルビドは、尿細管の管腔内浸透圧を上昇させ、 Na^+ の再吸収を促進する。

問7 次の(1)～(4)の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を
解答欄に記入しなさい。

- (1) β -ラクタム系抗生物質は、細菌の核酸合成阻害作用により、殺菌作用を示す。
- (2) バンコマイシンは、消化管から吸収されやすい。
- (3) エタンブトールにより、視力障害を生じることがある。
- (4) サントニンは、回虫の細胞膜の透過性を変化させて、殺虫作用を示す。

問8 次の(1)～(4)の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を
解答欄に記入しなさい。

- (1) 塩蔵や糖漬した食品が腐食しにくいのは、水分活性が低いためである。
- (2) ソルビン酸は、殺菌作用が強いため食品の保存料として用いられる。
- (3) 銅クロロフィルは、天然由来の着色料で食品添加物に指定されている。
- (4) アスパルテームは、ペプチド結合をもつ天然由来の甘味料である。

問9 次の(1)～(4)の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を
解答欄に記入しなさい。

- (1) 硫酸ミストは、二酸化硫黄よりも粘膜刺激作用が弱い。
- (2) ディーゼル排ガス中の窒素酸化物の窒素は、主として空気中の窒素に由来する。
- (3) 一酸化炭素は、目や気道への粘膜刺激作用を有する。
- (4) 空気中にコロイド状で浮遊している粒子をエアロゾルという。

問10 巨大地震など災害が発生した際には、被災地では、建物の崩壊、幹線道路の寸断による広範囲な交通遮断、通信網の崩壊、ライフラインの供給停止などにより医療の提供が困難となることが想定される。このような状況を踏まえ、以下の活動や対策について、薬局の薬剤師としての立場から、それぞれ述べなさい。

- (1) 災害時に行うべき活動について
- (2) 平時の準備・防災対策について

問11 国際的な人の移動の活発化に伴い、国内での感染があまり見られない感染症について、海外から持ち込まれる事例が増加している。デング熱などの蚊が媒介する感染症（以下「蚊媒介感染症」という。）についても、海外で感染した患者の国内での発生が報告されている。このような状況の中で、蚊媒介感染症の発生とまん延を防止するために必要な平常時の予防対策として考えられるものを述べなさい。